

2017年9月19日

スマート水素ステーション稼働開始記念式典の開催について

相馬ガスグループ（福島県南相馬市、代表取締役 渋佐克之）は15日、同グループの株式会社エネルギー生活市場（エルム）敷地内において、「スマート水素ステーション稼働開始記念式典」を開催いたしました。

相馬ガスグループでは、地域に先駆け、平成28年度環境省二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用し、環境に優しく、化合物として地球上に無尽蔵に存在する「次世代エネルギー」である水素エネルギーを活用する第一歩としてスマート水素ステーション（SHS）の導入を行いました。**福島県内では2例目、民間では東北地方で初めて**となります。あわせて燃料電池自動車「クラリティ・フューエル・セル」1台の社用車としての導入も行いました。

今後も相馬地方の住民の皆様の生活に根差した、総合エネルギー企業を目指し邁進してまいります。水素の分野においても、トップランナーとなるべく尽力してまいりたいと考えておりますので、今後とも御指導のほど、何卒よろしくお願いいたします。

【記念式典について】

開催日時： 2017年9月15日（金） 10:00～11:00

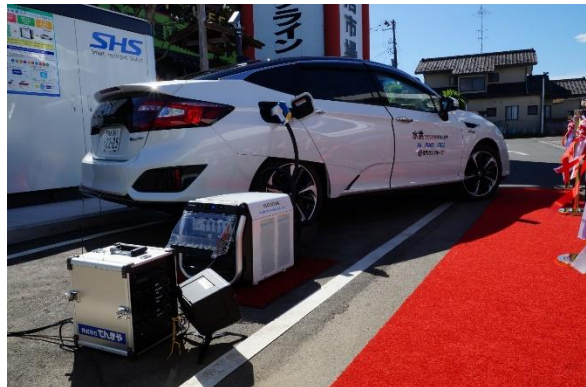
場所： 相馬ガスグループ 株式会社エネルギー生活市場（エルム）敷地内  
 福島県南相馬市原町区本町3丁目72番地の3  
 TEL 0244-24-4510 / FAX 0244-24-4524

参加者数： 72名

■ 式典の様子



SHSの前にクラリティを駐車し、皆様へお披露目。



式典はクラリティの水素燃料で外部給電器「パワーエクスポーター」を稼働させ、音響機材の電力をまかした。



福島県中小企業家同友会相双地区副会長/株式会社スズロ  
代表取締役社長 鈴木清重 様より開会のご挨拶をいただく。



相馬ガスホールディングス株式会社 代表取締役社長 洪佐克之  
より皆様へのご挨拶。



桜井勝延 南相馬市長よりご挨拶いただく。



小沢晴司 環境省東北地方環境事務所所長よりご挨拶いただく。



須釜泰一 福島県企画調整部地域づくり担当次長よりご挨拶  
いただく。



稼働開始記念テープカット（写真左より：本田技研工業 溝端様、  
小沢様、洪佐克之、桜井 南相馬市長、須釜様、岩谷産業 齊田様）



溝端健二 本田技研工業株式会社 ビジネス開発統括部 スマートコミュニティ企画担当部長より、納車記念キーの贈呈。



桜井南相馬市長と渋佐克之による充填式。



岩谷産業株式会社 産業ガス・機械本部 電力・ガスプラント部 シニアマネージャー 香山尚澄様より SHS の機能説明をいただく。



原町中央ロータリークラブ直前会長/有限会社長島田モータース 代表取締役社島田俊之様より閉会のご挨拶をいただく。



式典終了後、来場の皆様へクラリティを間近でご覧いただく。



式典終了後、来場の皆様へクラリティを間近でご覧いただく。

【記者会見について】

開催日時： 2017年9月15日（金） 10:00 ～ 11:00

場所： 相馬ガスグループ 株式会社エネルギー生活市場（エルム）敷地内  
福島県南相馬市原町区本町3丁目72番地の3  
TEL 0244-24-4510 / FAX 0244-24-4524

参加社数： 8社

■ 記者会見の様子



記者の皆様からの質問に答える相馬ガスホールディングス株式会社代表取締役社長 渋佐克之。



記者の皆様からのご要望でクラリティの前で写真撮影。

【試乗会について】

開催日時： 2017年9月15日（金） 13:00 ～

場所： 相馬ガスグループ 株式会社エネルギー生活市場（エルム）敷地内  
福島県南相馬市原町区本町3丁目72番地の3  
TEL 0244-24-4510 / FAX 0244-24-4524

参加者数： 11名

約30分間、実際に市内を運転していただき、水素燃料電池自動車の性能を体感いただく。

【参考資料】

■ 当日の式次第について

平成29年9月15日

スマート水素ステーション 稼働開始 記念式典

式次第

- 一. 開会挨拶  
福島県中小企業家同友会相双地区副会長 鈴木 清重 様  
株式会社スストヨ 代表取締役社長
- 一. 主催者挨拶  
相馬ガスホールディングス株式会社 代表取締役 渋谷 克之
- 一. 来賓祝辞  
南相馬市長 桜井 勝延 様  
環境省 東北地方環境事務所 所長 小沢 晴司 様  
福島県 企画調整部 地域づくり担当次長 須釜 泰一 様
- 一. テープカット  
南相馬市長 桜井 勝延 様  
環境省 東北地方環境事務所 所長 小沢 晴司 様  
福島県 企画調整部 地域づくり担当次長 須釜 泰一 様  
本田技研工業株式会社 ビジネス開発統括部  
スマートコミュニティ企画部 担当部長 溝端 健二 様  
岩谷産業株式会社  
総合エネルギー本部 産業エネルギー部長 齊田 吉治 様  
相馬ガスホールディングス株式会社 代表取締役 渋谷 克之
- 一. 記念キー贈呈
- 一. 充填式
- 一. 機能説明
  - ・ スマート水素ステーションについて  
岩谷産業株式会社  
産業ガス・機械本部 電力・ガスプラント部長 矢野 浩之 様
  - ・ 燃料電池自動車「クラリティ・フューエル・セル」について  
本田技研工業株式会社 ビジネス開発統括部  
スマートコミュニティ企画部担当部長 溝端 健二 様
- 一. 閉会挨拶  
原町中央ロータリークラブ直前会長 島田 俊之 様  
有限会社島田モータース代表取締役社長

■ 相馬ガスグループのこれまでの水素社会への取り組み

相馬ガスグループの代表である渋谷克之は、入社した1993年当時より、水素エネルギーに興味を持ち、水素で電気と熱を供給する燃料電池こそが、未来のエネルギーの主役になると考えておりました。

相馬ガスグループとしては、2014年12月のトヨタ自動車の燃料電池自動車MIRAIの発売を契機に取り組みを始めました。2015年3月に北九州を見学し、そこで水素ステーションや八幡製鉄所から出る副生水素をパイプラインで住宅に供給する実証実験の現場などを見学し、また、南相馬市や福島県などで水素社会の勉強会を何度か開催し、水素社会への取り組みを提案しました。その後、福島県のイノベーションコースト構想に水素社会への取り組みが盛り込まれることとなりました。

2016年5月に南相馬市内で水素社会シンポジウムを開催し、水素社会の権威である東京理科大学教授の橋川武郎先生に基調講演を、産総研の再生可能エネルギー研究センターの副研究センター長である古谷博秀先生や市内のカーディーラーの社長、バス会社の社長、渋谷克之の4人がパネラーとなってパネルディスカッションを行い、約100人の聴講者が参加しました。このパネルディスカッションにおいて、相馬ガスグループとして、スマート水素ステーション(SHS)の設置を発表しました。

SHSの設置が実現し水素社会への初めの一步を踏み出しましたが、今後は、本格的な商用ステーションの事業化や市内での水素によるスマートコミュニティの整備などを検討していきたいと考えています。

■ スマート水素ステーション (SHS) について

□ 製造・充填概要



□ 特徴

- ・ 太陽光で発電した電気を活用して水の電気分解を行うため、水素製造時に二酸化炭素を排出しない。
- ・ 圧縮機（コンプレッサー）を使用しないため、騒音値が小さく設置面積もコンパクト。

□ SHS 設置時の様子（2017年7月27日）



20tトラックにて運搬、クレーンを使用し土台へ設置、固定。

■ 相馬ガスグループ SHS 外観写真



【本件についての問い合わせ先】

相馬ガスホールディングス株式会社 経営管理本部  
今津 健充  
TEL : 0244-22-4101 / Fax : 0244-24-0580  
E-Mail : imazu.t@somagas.jp